

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	カーボンニュートラルポータル形成の推進に向けた沿岸域有機泥と鉄鋼スラグの機能開発に関する研究委託
契 約 概 要	<p>計画準備</p> <p>沿岸域有機泥と鉄鋼スラグのSMFC発電燃料化に関する検討 1式</p> <p>SMFCを用いたCO2変換水素の生産技術に関する検討 1式</p> <p>沿岸域有機泥等のブルーカーボン効果に関する検討 1式</p> <p>実用化に向けた発電規模の拡大に関する検討 1式</p> <p>資料解析・整理 1式</p> <p>協議・報告 3回</p> <p>成果物 1式</p>
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所長 林 雄介 国土交通省中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所 広島市南区宇品海岸3丁目10番28号
契 約 年 月 日	令和5年9月11日
契 約 業 者 名	国立大学法人広島大学
契 約 業 者 の 住 所	広島県東広島市鏡山1丁目3番2号
契 約 金 額	4,998,555円(税込)
予 定 価 格	4,998,555円(税込)
随意契約によることとした理由	<p>本委託業務は、カーボンニュートラルポータル形成の推進に関する技術的な課題の解決を目的に実施するものであり、沿岸域に豊富に存在する有機泥と鉄鋼スラグの機能開発に関する技術的課題の抽出及びその解決技術の研究を行うものである。</p> <p>業務遂行にあたっては、①有機泥と鉄鋼スラグを燃料とした微生物燃料電池(以下、「SMFC」という。)に関する高度な知見と幅広いノウハウ、②SMFC機構を利用した水素生産に関する高度な知見と幅広いノウハウ、③沿岸域有機泥のブルーカーボン効果に関する高度な知見と幅広いノウハウを有している必要がある。</p> <p>国立大学法人広島大学は、①有機泥と鉄鋼スラグを燃料としたSMFCに関する研究実績を有しているほか、②SMFC発電の機構及び電力を利用した水素生産技術の研究実績を有している。さらに③沿岸域有機泥等のブルーカーボン効果による生態系再生効果の検証・評価に関する豊富な研究実績を有しており、本業務を遂行するに十分な能力を有している。</p> <p>本業務を遂行するに必要な能力を有する者は、国立大学法人広島大学以外にも存在する可能性があることから、令和5年7月31日から同年8月18日までの期間に本業務の受注希望者の公募を行った結果、参加意思確認書の提出が無く上記の要件を満たす者が同大学を除いて存在しないことが確認された。</p> <p>以上のことから、国立大学法人広島大学と会計法第29条の3第4項の規定による随意契約を締結するものである。</p>
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 (自)	令和5年9月11日
履 行 期 間 (至)	令和6年3月18日
備 考	